

2020年9月28日 第342号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター第7回総会

「安倍政治」継承の菅政権に総選挙で審判を！

市民と野党の共闘で自公政権に代わる政権を実現しよう！

安倍内閣に終止符が打たれましたが、安倍政治の継承をかかげる菅内閣発足という情勢のもと、憲法共同センターは9月25日夜、第7回総会を開き、32団体53人（Zoom参加含む）が参加しました。新型コロナウイルスの感染拡大で、いのちと暮らしを支える公務・公共分野の脆弱性、新自由主義の誤りが明らかになっています。来たる総選挙で、憲法が生きる社会、市民と野党の共闘で新しい政治へと転換することが求められています。そのために全国各地で奮闘していく決意が語られました。



開会あいさつを自由法曹団の吉田健一団長が行い、「安倍首相が退陣し、菅政権が発足した。安倍改憲を許さなかった私たちの運動に確信を持つ。安倍政治を継承する菅政権は、自己責任、新自由主義を進めようとしており、憲法を生かすたたかいが求められている。総選挙で自公政権をやめさせ、市民と野党が共闘して新しい政権をつくるのが急務。職場・地域から運動を広げ、そのために力を発揮しよう」と呼びかけました。

日本共産党の山添拓参議院議員が国会情勢を報告。「菅首相は、自助、共助、公助と言うが、誰も取り残さないと発するべきだ。自己責任ではダメなことがコロナ禍でわかった。新自由主義、自己責任、格差拡大の社会から、いのちと暮らしを守り、人間らしく働ける社会に転換するかが問われている。市民と野党の本気の共闘で新しい政治を切り拓いていこう」と訴えました。

議案提案を全労連の竹下武常任幹事が行いました。3000万人署名、改憲発議反対署名を力に改憲論議をさせなかったこと、世論の広がりでも検察庁法改定案の成立を断念させたことなど、運動の到達を述べ、総選挙に向けた市民と野党の共闘で政治を転換させていくことを呼びかけました。具体的な取り組みとして、対話を重視した署名の取り組みの強化、連続学習講座のネット配信の検討などの憲法学習の具体化を提起。憲法共同センターの共同代表を選出する「申し合わせ事項」の改定案を提案しました（全労連の小田川義和顧問、新婦人の米山淳子会長、全日本民医連の岸本啓介事務局長を確認）。

4人の参加者が発言。自治労連の小原徹也さんは、「新自由主義との対決軸は憲法だ。憲法発議に反対する署名だが、請願項目の2番目にある『憲法を生かし、平和・人権・民主主義、生活の向上が実現する社会を求めます』を1番目にしたらどうか」、全教の山田真平さんは、「改憲発議反対署名は12万枚の署名を活用。コロナ禍でも2万8000人分を集め広がっている。憲法カフェの取り組み、各組織でニュースが発行されている。憲法会議・日本平和委員会発行の敵基地攻撃能力についてのリーフも1万部活用する。忙しい中でも要求や権利を訴えていくことで職場も変わる。そのことが憲法を守ることにつながる」と発言しました。

埼玉憲法会議の渡辺政成さんは、「オール埼玉総行動で大規模決起集会を予定している。先日の

実行委員会には15区ある小選挙区のうち14区から参加。候補者の一本化も進んでいる。総選挙で一気に決着をつけよう、大阪憲法会議の山田憲司さんは、「11月1日の大阪都構想の住民投票では、70%の人がよくわからないと回答しており、内容を伝え、巻き返しを強めたい。住民投票の直後だが、3日には、総がかりで集会を行う。くらし・憲法を守るたたかひにがんばる」と決意を述べました。

総会の議案について拍手で確認。憲法会議の高橋信一事務局長が閉会あいさつを行い、「菅首相は憲法を理解していない。変えさせてはいけない。敵基地攻撃能力の保有は、やられる前に攻撃するものだ。改憲発議反対署名も活用し、市民と野党の共同を広げ、たたかおう」と呼びかけました。



総会の前段には「コロナ後の社会と憲法問題」と題し、京都精華大学人文学部専任講師の白井聡さんがZoomで記念講演。安倍政権のコロナ対応の失敗、仕組みされた「体調不良辞任ショー」、モリカケ、桜等々の悪が積み重ねられ、安倍政権にボディブローのように効いてきて退陣に追い込まれたことなどについて話し、「憲法より上位に日米安保条約がある」という矛盾などを指摘しました。

なお、記念講演は後日、憲法共同センターのホームページにアップする予定です。

「私の一言」届いています! その16

憲法共同センター「憲法リーフ」の署名ハガキが返信されています。そこにある「私の一言」欄に寄せられた言葉を紹介します。

武力で本当の平和は勝ち取れないことを、一番良く知っている日本。憲法9条を変えてはいけません(北海道札幌市から)。

安倍氏は、突然辞任しましたが、後任の菅氏は「安倍政治の継承」を掲げています。表部隊にはあまり出てきませんが、安倍政権の「負の部分」のほとんどに菅氏が関係しており、これからは国政の閉塞感がもっと強まるかもしれません。次の総選挙で野党共闘を成功させ、自民・公明の暴走を絶対に止めましょう。若者を含め、国民の意識を高める方策を講じましょう(鹿児島県鹿児島市から)。

国会中継を見ることしかできなかった我々。首相の答弁は逃げ口上しか言ってないですね。満州事変から支那事変、大東亜戦争を経てきた私たち国民。「何もわかっていない人々が議員をやっているのでは」と思えてなりません。とにかく、野党のみなさんにがんばってほしい(埼玉県川口市から)。

*当面の行動

10月8日(木) ウィメンズアクション 18時～ 有楽町・イトシア前
10月13日(火) 総がかり行動実行委員会 署名宣伝 18時～ 新宿駅西口
10月19日(月) 総がかり行動実行委員会 「19日行動」 18時30分～国会議員会館前
11月3日(火) 11・3国会正門前行動 13時30分～